

COWHED報告

ビラーン通信 38 号でお伝えしましたように、ティナラク織などの伝統工芸品は、現在 HHG が販売を担当し、女性自立のための組合COWHEDを支援しております。森田さんが 7 月から 11 月まで現地に滞在しており、これまでの経過をレポートしてくれました。

COWHED理事会とのミーティング (1)

森田奈美

こんにちは。HHGの今年目標であるCOWHEDの経済的自立に向けて、組合員のメンバーと日々語り合っています。今回は 8 月の第 1 回理事会ミーティングについてご報告します。

1. 運営委員の自己紹介 / 2. 各自の仕事の内容と現状報告 / 3. HANDSとHHGについて / 4. ビサヤ人であるリンダさんを雇用する理由 / 5. COWHEDの赤字をなくすためにできること

という順に話し合いました。運営委員は数人ずつ教育、ローン返済、選管等各コミティーに分かれています。実際活動しているのは一握りの人たちでそれも全くのボランティアです。交通費や携帯電話代も自分で出しているということです。それを改善できるように何ができるか、という 5 番目の話につなげていきました。何人かのメンバーから、「このようにオープンな話し合いを持ち、何かを決定していくプロセスは初めてで嬉しい」という意見をもらい、やって良かったなあ、と実感しています。みんなで決定し実行していく、という経験が少ないと、なかなか進まないのだと思います。口で言うほど簡単なことではありませんが、第 1 歩と思ってやっていきます。

COWHED理事会とのミーティング (2)

10 月にCOWHED理事会と第2回ミーティングを持ちました。今回は、①1回目の会議のあとそれぞれがどう動いたか、②COWHEDが安定した組合になるために必要な事は何か、ということを中心に話し合いました。まず1回目の会議で各自の仕事を確認しましたので、その仕事をその後の約 2 ヶ月間で何ができたかを確認しました。(とは言っても、ほとんど進展はなかったのですが...) また、今回の大きなポイントは、

1. COWHEDが所有する 3 つの土地をどう活用するか
2. COWHEDに借金している人から、今年中に返済を促すにはどうしたらよいか

ということです。1の土地については、COWHEDスタッフのマイダさんの夫に手伝ってもらい、米、トウモロコシ等、換金作物を作り、COWHED内の日用品売場で販売し収入にする、ということが決まりました。また、できるだけロコやキナルムなど、ティナラクに関係する樹木も植えよう、という意見が出ました。2については、ローン回収担当で、唯一活発に働いてるベルナデスさんを 12 月まで雇用し、全借金中 75%を目標に回収に全力投球してもらう事になりました。これが達成できれば、ある程度乗り切れるように思います。

会議を持ったら具体的に動く、ということを確認しないと、そのままになってしまいがちです。ひとつずつやれば達成できる、ということを実験する事が必要だと感じました。他には、組合員をもっと増やそうという話が1回目の会議で出ていましたので、そのために、今月末までに生産者の多い地域で組合員勧誘セミナーを開く事が確認されました。また、11 月前半にレイクセブのお祭りがあり、ティナラク織製品を販売する準備を行う事も確認しました。

文字どおり吹けば飛ぶような家が多い場所で活動するだけに、フィリピンで唯一台風のない地のありがたさを感じています。季節の変わり目、みなさんもお元気でお過ごしください。



店舗内のディスプレイも以前より工夫された

現地での努力が製品改良の形で少しずつ実りつつあります。ティナラク織バッグや小物、ビーズネックレス、真ちゅう製ベルなどプレゼントに最適な品もそろっています。みなさま是非ご利用下さい。ご希望の方には HHG 作成商品リストをお送りしますので HANDS 事務局までどうぞ。(担当・甲斐)